

京都大学瀬戸臨海実験所振興會

水族館月報

No. 85

1959. 9月 (10月5日)

録 事

本会発足以来昭和33年度までに、瀬戸臨海実験所のために本会が購入した物品(物品総額2,499,473円、図書3,223,766円)を本年6月6日付で京都大学理学部に寄贈すべく正式に手続きをとった。(詳細目録省略)

7月以降完成した紀勢線の全通や、各バス会社の旅館バス取扱に伴なう貸切バスの営業開始に影響されてか、毎月水族館も確実に1万人以上の入館者の増加を見るに到ったことは喜ばしい。

9月17日本土を襲った台風14号はさしたることもなかったが、26日潮岬西方より紀伊半島を斜断して伊勢湾に抜けた台風15号はかつてのジェーン台風匹敵する超A級の台風であったために、海岸は3mを越える大波に翻弄され、実験所南側砂浜にある3軒の露店観光ボート待合所は一物も残さず流失し、船着場の一部も破壊された。梁道臨海表線もいたるところで破損し暫く交通杜絶をみた。実験所及び水族館の建物自体は爪が高潮ほどに激しくなかつたので大した被害もなかつたのをせめてもの幸としなければならぬ。

英国留学の原田研究員は9月の始めロンドンに安着し、12日より目的地のブリマス臨海実験所に落ちついた旨音信があった。

秋の職員見学旅行は紀勢線完通を機として、8月26日-28日、9月11日-13日の2班にわかれて鳥羽水族館及び志摩伊勢方面の見学にあてられた。

業 務 概 況

◎ 9月の入場者数

区 分	大 人		小 人		合 計		
	本月分計	累 計	本月分計	累 計	本月分計	累 計	
水族館発売	個人	4977	45489	210	5322	5187	50811
	団体	10511	73070	—	—	10511	73070
交通公社発売	3981	29187	—	—	3981	29187	
明光バス発売	10133	105507	76	5400	10209	110907	
合 計	29602	253253	286	10722	29888	263975	
無 料	京大農学部岡本講師他				41	504	

団 体：一般 134組、学生 2組 計 136組

◎ 9月の事業収入

(今年度累計)

観光券売上金

窓口発売	272,375	2,089,480
交通公社クーポン	61,670	466,594
明光バス観光券	647,587	2,249,844※
予金・積立金利子	37,285	308,386
雑 収 入	49,512	143,148
魚 類 拂 下	—	830
絵はがき拂 下	20,970	151,410
計	1,089,399	5,409,692

※ 明光バス観光券未収分 動植物共通大人券 977枚
全 上 小人券 1枚

◎ 9月の支出

水族館経費

費 目	金 額	累 計	備 考
人 件 費	80,653	615,390	
会 議 費	880	69,164	
備 品 費	4,470	42,270	
消 耗 費	10,833	110,047	
事 業 費	39,579	288,733	
維 持 費	410	92,030	
其 他諸経費	151,117	284,691	
積 立 金	111,129	964,394	
合 計	399,071	2,466,719	

実験所経費

費 目	金 額	累 計	備 考
研 究 費	—	70,000	
奨 学 金	—	12,000	
備 品 費	150,950	267,037	双眼実体顕微鏡、図書化
消 耗 費	—		
刊 行 費	—	1,629.51	
役 務 費	—	22,550	
合 計	150,950	534,538	

博物館経費

費 目	金 額	累 計	備 考
人 件 費	35,330	201,545	
備 品 費	—	15,000	
消 耗 費	—	—	
役 務 費	—	1,860	
合 計	35,330	218,405	

臨時費

支出なし

支出合計

(今年度累計)

水族館経費	399,071	2,466,719
実験所経費	150,950	534,538
博物館経費	35,330	218,405
臨時費	—	50,000
計	585,351	3,269,662

◎ 9月末現在高

前月よりの繰越	1,635,982
今月の収入合計	1,089,399
今月の支出合計	585,351
現 在 高	2,140,030

◎ 前年度との比較

	1958	1959	増 減
入 場 者 数	19364	29888	+ 10524

水族館記事

- ◎ 8月28日に入ったヤシカニは、果物・魚・パンを与えても食べないまま6日を経過し、3日に好餌といわれるバナナを与えると、夜のうちに食べてしまい、餌付けに成功したかに見えたが、4日午後になって遂に死亡した。標本にして標本室に展示した。
- ◎ 今月は最近水槽内に久しく絶えていた動物が多数入槽した。そのおもなものは次の通りである。

1. アオリイカ 12日, 20日, 22日, 23日: 合計35個体
2. カザミ 4日, 25日: 合計20個体
3. イトヒキアジ 上旬(日不明), 25日: 合計5個体
4. サザナミヤッコ 2日: 1個体
5. キハツソク 22日: 1個体
6. アオアダイ 7日, 11日: 合計2個体
7. カゴカキダイ 2日, 7日, 8日, 9日, 下旬(日不明): 合計8個体
8. トウゴロウイワシ 2日: 約20個体

- ◎ ゴシキエビが30日に入槽した。体長14.5cm。
- ◎ クマノミ2個体を7日に採集したため、合わせて3個体となり、またコバンザメが11日に1個体入り、水槽をにぎわせている。
- ◎ 9月1日から死亡記録—とくにその原因及び水槽番号—をとりはじめた。そのうちおもなものは次の通りである。

今日入槽した動物

1. アオリイカ 15日 1, 16日 2, 17日 2, 19日 1, 20日 1, 21日 2, 23日 1, 24日 2, 25日 4, 26日 7, 27日 10, 28日 2, 合計 34個体。
26日, 27日に死亡数が高いのは水がかなり濁ったため死亡数を高めたものと思われる。
2. イトヒキアジ 21日に1個体。白臭病にかかっていた。
3. サザナミヤッコ 採集4日後に死亡。原因不明。
4. アオアダイ 11日に1個体。夜間に水槽からとび出していた。
5. カゴカキダイ 5個体死亡(日不明)。そのうち3個体は刺網による傷に原因あると思われる。

先月からいた動物

1. ハナミノカサゴ 24日5個体。白癩病にかかっていた。

2. ソウリエビ 2日 18, 3日 6, 6日 2, 27日 1, 合計 27個体。

1日夜にN0. 36 の水槽の底の栓が抜けて水がなくなり、多くの個体が干上っていた。

◎ 台爪15号による水槽中の動物の影響はとくに目立つことはなかった。水は26日、27日に非常に濁ったが、上記のアオリイカが多数死んだことを除いてはとくに他の日とくらべて変わったことはなかった。

◎ 9月30日現在、観覧水槽に収容飼育中の動物は総計 138 種、1050個体以上で、その内訳は次の通り。

カイメン類	1種	カニ類	7種
ヒドロ虫類	1種	ニ枚貝類	5種
ウミトサカ類	1種	巻貝類	10種
ヤギ類	3種	イカ類	1種
イソギンチャク類	8種	ウミシタ類	3種
イシサンゴ類	9種	ヒトデ類	6種
スナギンチャク類	1種	ウニ類	11種
ハナギンチャク類	1種	ナマコ類	6種
ホウキムシ類	1種	ホヤ類	1種
多毛類	1種	軟骨魚類	1種
カブトカニ類	1種	硬骨魚類	46種
エビ類	8種	カメ類	3種
ヤドカリ類	2種		

資 料

- ◎ 9月の気象 (9時観測)
 南水槽室 (水温比重はN0.25水槽)

	上 旬	中 旬	下 旬
晴天日数(16)	6	4	6
室 温(°C)	$\frac{25.0 \sim 29.0}{27.6}$	$\frac{26.0 \sim 28.9}{27.8}$	$\frac{23.4 \sim 27.2}{25.0}$
水 温(°C)	$\frac{24.20 \sim 27.43}{26.31}$	$\frac{26.01 \sim 27.15}{26.71}$	$\frac{24.51 \sim 25.82}{25.04}$
比 重(0.15)	$\frac{23.40 \sim 24.94}{24.46}$	$\frac{24.02 \sim 25.12}{24.52}$	$\frac{19.76 \sim 24.95}{22.79}$

取入口

水 温(°C)	$\frac{24.10 \sim 27.70}{26.36}$	$\frac{26.30 \sim 27.83}{27.03}$	$\frac{24.47 \sim 26.90}{25.42}$
比 重(0.15)	$\frac{24.14 \sim 25.16}{24.66}$	$\frac{24.64 \sim 25.14}{24.81}$	$\frac{23.11 \sim 25.17}{24.63}$

表 訪 録

- 9月1日 大阪市立大学付属植物園坂崎信之氏他8氏(海岸植物採集)
 9月4日 大阪大学生計課長小野龍之助、全付属病院事務部長針奥信吉他3氏(阪大の要務のため)
 9月4日 京都大学教養学部学生18名(京大材料科岡本浩吾講師御幸)
 9月17日 京都大学農学部水産学科学生7名
 9月26日 東京大学地質学教室坂本俊雄教授及び中央温泉研究所員4名(白浜町委託囃の第2回温泉調査に関連し温泉資料調査)

昭和34年10月5日 (NO. 85)

編集兼
発行者

内海 富士 夫

発行者

瀬戸内海実業振興会
和可山瀬白浜町
瀬戸内海実業振興会
(Tel. 白浜温泉 515)